

今年の「石の学習会」は埼玉大有機農業研究会、文化財調査委員会、教育振興会の人達が参加して行われ、講師は佐藤昭治さん（米里戸中）と原子内貢先生。学生達は坑口から出てくる冷気に驚いていました。前日は坑口から白く冷気がでていただけに、それを見せられなくて残念でした。佐藤昭治さんからは戸中金山の歴史、原子内先生からはこの周辺の鉱石について説明がありましたが、興味関心のある学生が多く、先生に熱心に質問をしていました。残念ながら金は見つかりませんが、印象に残ったようでした。その後、木細工に移動し、宮沢賢治設計の「涙ぐむ眼」の花壇作りに取り組みました。木細工小学校の子ども達も参加してくれました。学生達は本当によく活動していました。彼らのお陰で早く完成し、木細工の人達のお世話でイワナの串焼き等の昼食を頂き、埼玉大との交流会を実施しました。今の学生は立派ですね。この秋に一部花を植えますが、菊池春男さんを中心とした村おこし会、花壇の基礎を作ってくれた菊池進さんに多謝！これから花壇作りの指導をいただく菊池幸雄さん、よろしく願いいたします。

